

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツリテラシーⅧA (Sports LiteracyⅧA)		授業コード	E002010
担当教員名	岩元 正敏			
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分		単位数	4	
履修上の注意または履修条件	指定クラブ学生のみ受講可。			
受講心得	学生自らがチームを作っていくという気持ちを忘れないこと。			
教科書				
参考文献及び指定図書	特になし。			
関連科目	健康の科学、スポーツサイエンス、生涯スポーツ指導、スポーツ実践・基礎Ⅰ、スポーツ実践・基			

授業の目的	空手道の技術・戦略を理解し、各個人の考え方をまとめることにより指導方法を身につけ、競技力向上に役立てることを目的とします。
授業の概要	4月からの南部九州大学空手道選手権大会など各種大会に向け、基本トレーニングから応用トレーニング、チームの完成と計画的に進めていきます。また、大会ごとにチーム目標、個人目標を決めチームカアップを目指します。

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
<b>基本ト4月</b> <b>レーニン</b> <b>グ 期</b> 空手道における体力づくりの基礎知識や基本動作(突き・蹴り・打ち・受け)の習得、攻防の基礎技術を習得します。 4月一南部九州学生空手道選手権大会・4月一国体予選大会	基本トレーニング期から、応用トレーニング期までチーム練習を行います。個人でもスキルアップ・体力アップを目指し、目標を決め練習に参加すること。	
<b>応用ト5月～7月</b> <b>レーニン</b> <b>グ 期</b> 応用動作(組み手)を中心にした技術の習得を目的とします。また、各大会(5月一九州大学空手道選手権個人戦大会、6月一西日本学生空手道選手権大会、6月一全日本大学空手道選手権大会個人戦、7月一九州地区大学体育大会空手道競技)でのチーム目標を設定し、試合形式などの技術習得を目的とします。		
<b>夏 季 合 9月</b> 10月一全九州学生空手道選手権大会・10月一国民体育大会・11月一全日本学生空手道選手権大会・12月一全日本空手道選手権大会にむけて学内強化合宿を行います。		
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	個人の現状を理解している。
【知識・理解】	個人目標を設定し、試合で悪かった点の修正を行い、対戦相手の対策が理解できている。
【技能・表現・コミュニケーション】	基礎体力のアップや基礎技術が習得できている。
【思考・判断・創造】	勝利のため個人が何が出来るのかを考え行動できている。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			15点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。			15点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			45点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			25点	
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。